

# 相模原市感染症情報

2024年1月



## 今月の注目疾患：咽頭結膜熱（PCF）

咽頭結膜熱はアデノウイルスを原因とする感染症です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、「プール熱」とも言われています。通常夏季に流行している感染症ですが、一年を通して感染する恐れのある感染症です。2023年は夏季を過ぎても国内での報告が続き、2024年に入っても高い値で推移しています。



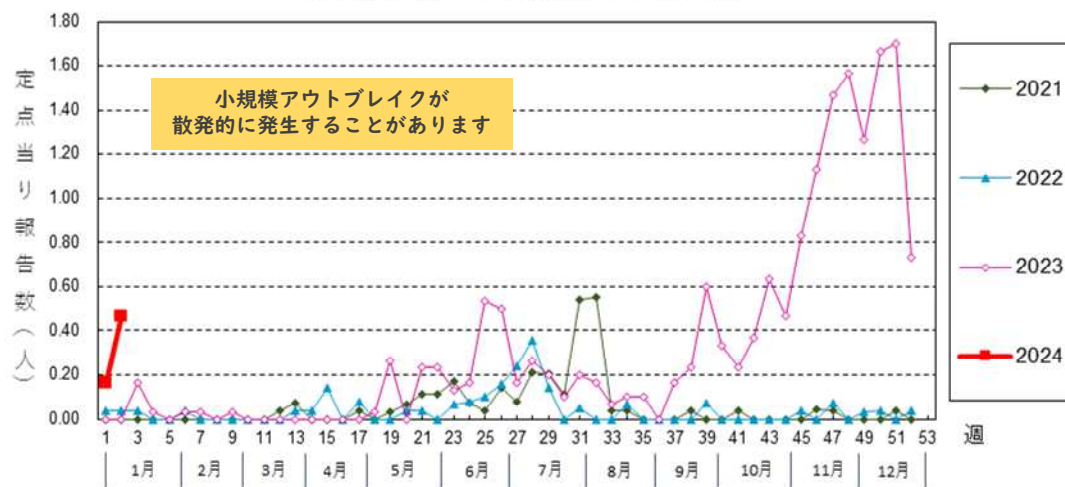
治療：特別な治療法やワクチンはなく、  
対症療法が中心となります

吐き気や頭痛が強いとき、咳が激しいときは  
早めに医療機関を受診しましょう。  
喉の痛みが強いときは、のど越しの良い食事をとりましょう。  
また、十分な水分摂取を行いましょう。

学校保健安全法において  
第2種の感染症。

主要症状が消失した後、  
2日を経過するまで出席  
停止となります。

咽頭結膜熱 市内定点当り報告数



## 感染経路



咳などの飛沫感染  
手指を介した接触感染  
プール水や温泉施設を通じた感染 等



## 予防方法

- ◎石けんと流水での十分な手洗い（アルコール消毒は効きにくい）
- ◎咳エチケットなどの基本的な感染症対策
- ◎目や口に触れたりこすったりしない  
（目やにや涙等に大量のウイルスが含まれるため）
- ◎症状消失後約1か月間は尿・便からウイルスが排泄されると言われているため、念入りの手洗いや排泄物の処理に注意する
- ◎プールや温泉施設の利用前後にシャワーを必ず浴びる
- ◎タオルは個別に使用する
- ◎プール水などの塩素濃度は適正に保つ



## 【主な症状】

発熱（38～39℃）、のどの痛み、結膜炎（目の充血、目やに等）を3主症状とする小児に多い急性ウイルス性感染症です。頭痛、食欲不振、全身倦怠感、結膜充血等が3～5日間程度持続します。眼症状は一般的に片方から始まり、その後他方にも出現します。頻度は高くないですが、重症化した場合、肺炎などを合併することもあります。



★相模原市感染症情報センターでは、毎週感染症に関する情報を掲載しています



相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所